

北斗市教頭会のご紹介

(会長あいさつ)



北斗市教頭会会長
上磯小学校 奥津教頭
ウエルビーイングな
学校づくりに貢献す

る組織を目指しております。

「ウエルビーイング」は、「自分の心や体の健康だけではなく、家族や友人、自分の住む街・国など周りのことも含めて持続的に良い状態であること」という意味です。

学校現場では、今まで児童生徒の幸せを願うことが中心となってきました。しかし、ウエルビーイングの視点から考えると、児童生徒はもちろん、教職員も幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるようにしていく必要があります。

ウエルビーイングな学校づくりを目指し、教頭会として微力ながら精一杯の知恵と行動力を発揮してまいります。地域の皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(各プロジェクトの紹介)

北斗市教頭会では、北斗市教育委員会や北斗市校長会と連携し、「授業改善」「地域連携」「外国語」「不登校対策」の4つのプロジェクトチームを組織し、具体的方策を検討、具現化できるよう取り組を進めています。

【授業改善】



左から
桃井教頭 (久根別小)
星野教頭 (茂辺地小中)
工藤教頭 (浜分中)
今村教頭 (大野小)

児童生徒の学力向上に向け、教師の授業改善を進めるため、研修会や視察を企画・運営します。

【地域連携】



左から
小寺教頭 (市渡小)
伊多波教頭 (浜分小)
畑教頭 (上磯中)

地域と学校が一体となった学校づくりを目指し、小中連携など9年間を見通した教育活動を推進していきます。

【外国語】



左から
佐藤教頭 (鳥川小)
中村教頭 (谷川小)
岩本教頭 (石別小)

外国語教育推進プランの策定や外国語の授業改善など国際理解を重視した教育活動推進に向け取り組みます。

【不登校対策】



左から
大西教頭 (石別小)
加藤教頭 (大野中)

不登校の実態や各校の取組などの情報共有を図り、児童生徒の居場所づくりや学びの保障を充実できるよう取り組みを進めます。

北斗市教頭会では、今後も教職員、保護者、地域の方、関係諸機関等との連携を通じて、『やりがい』をもつて教育活動を推進していきます。すべてはこれからの未来を担う北斗市の児童生徒のために。

(北斗市教頭会 萩野小学校)

教頭 長島 幹伸

感染症予防の三原則

近年、季節を問わず様々な感染症が流行しています。これらの感染症を予防するには「三つの原則」を守ることが大切です。今回は、「学校や家庭でできる感染症予防の三原則」についてお知らせします。

① 感染源の排除

感染源となる病原体、病原微生物(ウイルス、細菌、真菌、カビ)は汚れた場所、嘔吐物、便、よく手が触れる箇所、感染者、発症者に存在します。それらには近づかない、触らない、洗浄・消毒するなどの対処方法があります。

② 感染経路の遮断

空気感染や飛沫感染、接触感染など、病原体が体内に侵入する経路を遮断することが大事です。手洗い、手指消毒、マスクの着用、換気、咳エチケットの実践などの対処方法があります。



※病原体を「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」ようにしましょう。

③ 個々の抵抗力を高める

普段の健康管理により、早期発見につながります。また、抵抗力によって、感染しても病原体そのものを排除し、増殖を抑え、発症しても重症化しにくくなります。

感染症を100%予防することは困難ですが、感染した際に発症させないことや重症化させないことが重要です。

※予防接種、ストレスの解消、休息、体力づくりなどの対処方法があります。



※十分な栄養と睡眠をとるなど基本的な生活習慣を心掛けましょう。

(参考)「感染症の基礎知識」(GME 医学検査研究所)

(北斗市学校保健会
鳥川小学校 養護教諭 石川 路香)